

3Rの推進・BCP対策

持続可能な社会をめざすための基盤づくり



3Rの推進のために、買物袋持参運動だけでなく、容器包装のリサイクルや食品リサイクルの取り組みを積極的に進めています。集めた資源は、エコセンターで一次加工を行い、循環型社会の構築に向けての取り組みを展開しています。

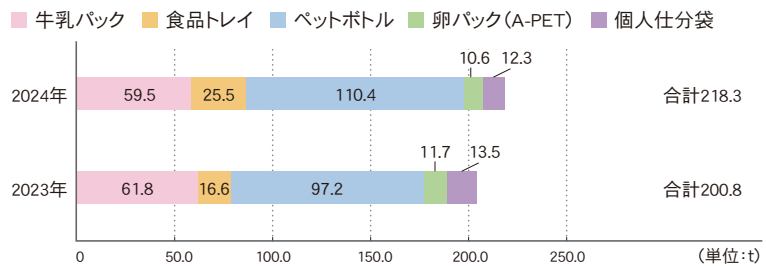
リサイクルの取り組み

3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進のために、県民せいきょうではリサイクルの取り組みを積極的に進めています。2024年度は、ペットボトルの回収量が大きく増加しました。また2024年7月より透明食品トレイの回収を開始し、食品トレイの回収量も増加しました。



▲リサイクルBOX

■容器包装リサイクル回収量推移



リサイクルステーション

「リサイクルステーション」では、家庭から出る古紙(新聞紙・チラシ・雑誌・その他雑紙)と廃食油(てんぷら油)を回収しています。集めた古紙は再生紙として、廃食油は飼料や肥料、石けんなどにリサイクルされます。



■リサイクルステーション回収実績

	24年度	23年度	前年比
古紙	1,575t	1,356t	116.2%
廃食油	12.2t	12.6t	96.8%

食品リサイクルの取り組み



■堆肥化率

	24年度	23年度	前年比
はるえ	77.2%	87.8%	87.9%
羽水	70.0%	72.8%	96.2%
学園	66.0%	64.6%	102.2%
志比口	64.8%	70.1%	92.4%
恐竜	58.9%	-	-
さばえ	55.2%	61.5%	89.8%
神中	60.6%	60.0%	101.0%
つるが	68.6%	68.4%	100.3%
全店平均	65.4%	69.3%	94.4%

※たけふ、わかさ、三方五湖では、堆肥化リサイクルは行っていない。

コープ商品に生まれ変わるペットボトル

2023年4月よりハーツで回収されたペットボトルは、100%コープ商品の包装の原料としてリサイクルされ活用されるようになりました。

ハーツで回収したペットボトルは、坂井市にあるエコセンターに集め、約1tの塊に一次加工されます。その後、再生樹脂処理工場、フィルム製造工場、包装製造工場、メーカーにて商品製造が行われ、再びコープの宅配やハーツで商品としてご利用いただけます。



▲再生PET素材から包材がつけられているコープ商品



エコセンター

組合員や事業所から出る紙やプラ類を集約し、品質の高いリサイクルの一次加工を行う施設を2015年6月に設立しました。関係団体の「一般社団法人ほのほのハーツ」で障がい者雇用を行い、就労支援の場づくりとしても位置づけています。



エコセンター外観



大型圧縮機では、1tの古紙の塊を作っています。異物などは職員の手で取り除きます。

■エコセンター回収実績

	24年度	23年度	前年比
注文書	1,688t	1,505t	112.2%
ダンボール	593t	566t	104.8%
新聞紙	63t	69t	91.3%
プラスチック類	134t	177t	75.7%
合計	2,478t	2,317t	106.9%

BCP対策

大雪への備え 除雪車導入

この間の豪雪を受けて、大雪への備えを強化しました。大型のホイールローダ(除雪車両)を、各地区本部に2台ずつ配備しました。これまで大雪時には、業者に委託して駐車場を除雪していましたが、自前で除雪ができるようになり、雪の日の組合員の駐車場の利用のしやすさや、配送拠点での対応力強化につながりました。



オリジナル防災セット

令和6年能登半島地震の発生を受けて日頃の災害への備えを行っていただくために、福井新聞社との共同企画でオリジナル防災セット企画を行いました。

